



作品名 **大地から**  
**Daichi-kara**  
作者 木方 立樹 KIKATA Tachiki  
寸法 230(幅)×70(奥)×130(高さ)cm  
展示場所 長久手町立長久手中学校

■作家歴  
1971名古屋生まれ  
愛知県立芸術大学卒業  
卒業制作(桑原賞) 新制作展入選  
現在 愛知県立旭ヶ丘高等学校 非常勤講師  
河合塾美術研究所講師

■コメント  
この作品は大地から湧き出てくる力をイメージして制作しました。私は彫刻作品という「もの」をつくる彫刻家ですが、「もの」のみをつくるのではなく、その「もの」によって生まれる「こと」、或いはそのものを生み出した「こと」を造りたいと考えています。「もの」から「こと」が生まれる、「こと」が「もの」を生み出すその際のなんらかの力のみが唯一本当と思えるのです。



作品名 **石の華**  
作者 大塚 道男 OTSUKA Michio  
寸法 50(幅)×50(奥)×120(高さ)cm  
展示場所 長久手町立長久手中学校

■作家歴  
1954東京生まれ  
愛知県立芸術大学大学院美術研究科研修生修了  
中部国展(中部国画賞)(新人賞)(奨励賞)  
国画会(新人賞) 国画会会友  
現在 愛知県立芸術大学彫刻専攻講師

■コメント  
南に面した広い校庭で光をとらえることのできる形を制作してみました。形の揺れが光と影をかもしだしてくれることを願いつつ。



作品名 **憩い**  
作者 小池 郁男 KOIKE Ikuo  
寸法 150(幅)×46(奥)×150(高さ)cm  
展示場所 長久手町立長久手中学校

■作家歴  
1935長野県上田市生まれ  
東京藝術大学美術学部彫刻専攻科修了  
愛知県芸術選奨文化賞  
一陽会(一陽賞)(オペリスク賞)(第30回記念会員賞)  
現在 愛知県立芸術大学名誉教授

■コメント  
吹く風も爽やかに心に響く。広々とした青空の下、楽しく遊び、語りながら憩うひとときの風情を三つの石で構成したもの。石を大きく削りこみ、穴を開けることによって重量感をなくし、軽快なフォルムで擬人化した作品である。